

意見書

意見書とは、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するため、市議会の意思を決定し、国会や政府に提出するものです。

森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた 施策の充実・強化を求める意見書

北海道の森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負荷の少ない循環型社会を形成するため、活力ある森林づくりや防災・減災対策、道産木材の利用をさらに進め、森林・林業・木材産業によるグリーン成長が実現できるよう、国会および政府に対し、以下の措置を講ずるよう強く要望するものです。

- ①森林の多面的機能を持続的に発揮し、ゼロカーボン北海道の実現に貢献するため、適切な間伐と伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。
- ②森林資源の循環利用を一層推進するため、ICT等の活用によるスマート林業の推進、木材生産・流通体制の強化、建築物の木造・木質化、木質バイオマスのエネルギー利用の促進などによる道産木材の需要拡大、森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること。

決議

決議とは、市議会としての意思を決定し、それを対外的に表明するものです。

性的マイノリティに対する差別的な発言に 抗議する決議

同性婚を巡り、首相秘書官が性的マイノリティを傷つける差別的な発言を行い、更迭されました。

札幌市では、性的マイノリティに係るパートナーシップの宣誓制度や、札幌市LGBTフレンドリー指標制度など、互いの個性や多様性を認め合い、誰もが生きがいと誇りを持つことができるまちの実現を目指した取り組みを行っており、本市議会でも、令和3年第2回定例会において「社会における性的マイノリティへの理解促進を求める意見書」を可決しています。

多様性が尊重される包摂的な社会づくりを目指す中において、性的指向や性自認を理由にした差別は許されず、秘書官の発言は断じて容認できるものではありません。

よって、本市議会は、性的マイノリティに対する差別的な発言に強く抗議するとともに、政府に対し、同性カップルをはじめとした性的マイノリティへの真の理解を社会に広げる取り組みを進めるよう強く求めるものです。

意見書および決議の全文は、市議会ホームページに掲載しています。